

「令和 3 年農業産出額及び生産農業所得」を公表

令和3年の埼玉県の農業産出額は 1,528 億円で、前年に比べ 8.9%減少し、
生産農業所得は 593 億円で、前年に比べ 9.7%減少した。

関東農政局では、「令和 3 年農業産出額及び生産農業所得（関東農政局管内）」について、
令和 4 年 12 月 27 日に公表しました。埼玉県の算出額等についてお知らせします。

【埼玉県】

1 農業算出額

令和3年の埼玉県の農業産出額は 1,528 億円で、前年に比べ 8.9%減少した。これは、主に鶏の産出額は増加したものの、野菜及び米の産出額が減少したためである。

主要部門別に構成割合をみると、野菜が 48.6%（743 億円）で最も高く、次いで米が 16.2%（248 億円）、花きが 10.3%（158 億円）の順となっている。

2 生産農業所得

生産農業所得は 593 億円で、前年に比べ 9.7%減少した。

埼玉県の概要

区 分	令和 3 年		対前年	
	実額	構成割合	増減率	
	億円	%	%	
農業産出額計	1,528	100.0	△	8.9
うち耕種	1,263	82.7	△	11.8
うち米	248	16.2	△	24.2
いも類	20	1.3	△	31.0
野菜	743	48.6	△	10.6
果実	53	3.5	△	1.9
花き	158	10.3		4.6
うち畜産	264	17.3		7.8
うち肉用牛	45	2.9		25.0
乳用牛	69	4.5		0.0
豚	52	3.4	△	13.3
鶏	93	6.1		24.0
生産農業所得	593	-	△	9.7

農業産出額の上位 5 品目（埼玉県）（令和 3 年）

1 位			2 位			3 位			4 位			5 位		
品目	産出額	構成割合	品目	産出額	構成割合	品目	産出額	構成割合	品目	産出額	構成割合	品目	産出額	構成割合
	億円	%		億円	%		億円	%		億円	%		億円	%
米	248	16.2	ねぎ	141	9.2	きゅうり	97	6.3	鶏卵	93	6.1	ほうれんそう	79	5.2

◇関東農政局管内の詳細は、関東農政局ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/kanto/press/toukei/kikaku/221227.html>

◇全国結果は、農林水産省ホームページをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/nougyou_sansyutu/index.html#y

彩の国 農業人

～自ら新規就農のモデルとなって
若い人達に農業の魅力を発信したい！～

おおさわ こうへい

大澤 滉平さん

川越市の先進農家に雇用就農した後に独立して、にんじん、ねぎ、ブロッコリー、カリフラワー等の露地野菜の生産・販売を始めた大澤滉平さんをご紹介します。

東京都の非農家出身の大澤さんは、バイクショップを営む父親が土地を借りて農作物を栽培し始めたことがきっかけで、農業は自然の中で気持ちよく働ける良い職業だと意識するようになり、その貸主に相談したところ川越市の農園を紹介され、平成24年に雇用就農しました。

川越市の農園では7年間農業の知識や技術を身につけながら地域の人達との人脈を築き、更にきゅうり農家でハウス栽培を学ぶため1年間勉強しました。

その後、独立就農するために、地元の農業委員やJA、地域農業者に農地情報や作業場情報を相談していた中で、規模を縮小する農業者とマッチングでき、農地60aと作業場を借りて、令和2年2月に独立就農できました。

現在はパート1名及び週2回ほど手伝いに来る父親との3人で、にんじん、ねぎ、ブロッコリー、カリフラワー等計1.5haで露地野菜を栽培しています。

出荷先は県内のスーパーが中心ですが、イベントがある時などは、近隣の若手農業者と一緒に朝採り野菜の直接販売にも力を入れています。

また、雇用就農時から川越市4Hクラブで活動しており、プロジェクト発表会や意見発表会で

「農業は魅力ある職業であり、やりがいのある職場です。多くの方に農業をより深く知ってもらわなければ就農に発展しないので、自ら新規就農のモデルとなって若い人達に農業へ興味を持ってもらえるよう、これからも情報発信をして行きたいと思っています。」

今後の経営については、「ハウス栽培に挑戦したいのですが、現在、資材費が年初と比べ100万円/10aも高騰しており、価格が落ち着いたら再度検討します。また、飛び地となっている圃場を集約して作業効率を上げ、規模拡大をしたいのですが、なかなか貸し手が見つからないのが悩みの種です。諦めず農業への熱意を伝え農地の斡旋へつなげたいと思っています。」

最後に、「作業場を拡張して近隣の若手農家といっしょにイベントの時に採れたてのにんじんを使ったジュースの販売にもチャレンジしたい」と語ってくれました。



大澤 滉平さん



収穫を待つにんじん

編集：関東農政局 埼玉県拠点

〒330-9722 さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館

TEL 048-740-5835 FAX 048-601-0510

<関東農政局HP> <http://www.maff.go.jp/kanto/>